

第 28 回議会運営委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 4 年 2 月 21 日 (月曜)	午前 9 時 30 分	開会
	休 憩 9:40-41 10:27-50		
		午前 11 時 11 分	閉会
会議場所	委員会室<オンライン出席 (O) >		
出席委員 氏 名	委員長 中村 和宏	委員 渡辺洋一郎	
	副委員長 正村紀美子	委員 黒田 栄継	
	委 員 鈴木 健充	委員 常通 直人	
	委 員 中田智恵子(O)		議長 早苗 豊 (O)
欠席委員 氏 名			
説明等に 出席した 者の氏名	町 長 手島 旭		
	副町長 佐野 寿行		
	総務課長 佐々木快治		
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 佐藤 史彦	総務係主査 上田瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、当委員会ではオンライン会議（議会委員会条例第 13 条の 2）である旨を説明し、委員 1 名（中田委員）及び議長のオンライン出席を報告した後、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1) 調査事項

- ア 令和 3 年芽室町議会定例会 3 月定例会議の運営について 資料 1
- イ 議会報告と町民との意見交換会のまとめについて 資料 2
- ウ 令和 4 年度研修計画案について 当日資料 3
- エ 議員定数と報酬のあり方について 当日資料 4

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程（予定）について
- (2) その他

2 議 件

- ア 令和 3 年芽室町議会定例会 3 月定例会議の運営について 資料 1
 - ・総務課長：資料 1-1 説明。
 - ・正村副委員長：資料 1-2 説明。
 - ・委員長：それぞれ提案予定事項について説明あったが、質疑は。
 - ・(質疑なし)
 - ・正村副委員長：資料 1 の「2」～「6」説明
 - ・委員長：資料 1 の「2」～「6」について質疑は？

- ・委員長：他に質疑はないか？
- ・（質疑なし）
- ・委員長：提案通りで決定する。

イ 議会報告と町民との意見交換会のまとめについて 資料2

- ・渡辺委員：第10回全員協議会（2月15日）で共通認識を図った今年度の事業実績を踏まえて、3か所（芽室中、上美生小・中、芽室西小）で聴取した意見を各委員会別に分類した内容を確認いただきたい（資料2-1）。また、今後、各委員会（議会運営委員会、両常任委員会）で取扱いを整理し、全員協議会で共通認識を図った後に、各PTA（学校）に対し報告と御礼を通知することとしたい。なお、各委員会等における意見の取扱い方法の決定期限を2月末日に設定し、その後、3月4日開催予定の議運で最終確認を経て、全員協議会で協議事項としたい提案である。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・鈴木委員：6か所のうち半数のみでの事業実施となった。各委員会において貴重な意見を整理し、先方にお返しできるよう取り進めていきたい。
- ・正村副委員長：議運に対しても意見をいただいた。この件については、この後、協議する「議員定数と報酬について」で加味して検討していきたい。
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：提案どおり、2月末日までに、それぞれの委員会で協議・整理し、次回の議運（3月4日）を経て、その後、直近の全員協議会で共通認識を図る。

ウ 令和4年度研修計画案について 当日資料3

- ・事務局長：資料説明＜第9回全員協議会（1月20日）及び第26回議会運営委員会（2月2日）での協議以降、先方（講師予定者）との調整等を経て、新年度の研修計画について整理した。公費支出による研修と議員会主催の区分を含めて全体像を決定いただきたい。去る2月15日の議員会では、議員会主催の来年度の研修事業について、基本的考え方を協議されており、議長及び議運から議員会主催での研修実施の依頼があれば尊重して計画に組み込む意思を確認していることを申し添える。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・鈴木委員：「①自治体DX」と「②住民参加」は町職員及び町民も対象とした計画になっている。町民の参加を促す日程として、平日の日中（15時～17時）という設定は適正か？
- ・事務局長：現時点での計画は講師の都合を優先したものとなっている。今後、詳細を協議する際の検討事項として捉えていく。
- ・黒田委員：議員会主催とする研修について、対象は議員のみか？外部からの参加も可とするか？
- ・事務局長：本日は、議会全体の新年度研修計画について、公費支出と議員会主催の整理をする位置付けであり、議員会主催とするものについては、研修の内容も踏

まえて具体事項を議員会で協議していただくこととしたい。

- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：今回の説明内容を、新年度事業の基本的考え方として、取り進めることとしたい。

エ 議員定数と報酬のあり方について

当日資料4

- ・事務局長：資料説明<第10回全員協議会(2月15日開催)の分科会を踏まえて「常任委員数」「委員会数」「議員定数」「政務活動費」「費用弁償」の「まとめ」を説明>>
- ・委員長：1項目ずつ確認・協議する。「常任委員数(委員会構成人数)」について、意見はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：次に、「委員会数(常任委員会数)」について、意見はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：次に「議員定数」について、意見はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：次に「政務活動費」について、意見はないか？
- ・正村副委員長：政務活動費についてはマイナスイメージが大きい実態がある。しかしながら、法的根拠は正当な目的であり、感情・感覚に流されることなく本質的な議論をし、成熟した議会を目指して議会全体で調査・検討すべきことを付け加えたい。
- ・常通委員：先日の分科会(グループ1)を踏まえると、平成26年度の答申時の記述を改めて検証することを期待する意見もある。政務活動費の導入議論を今後の課題と整理せずに、議会として検討をすべきと考える。
- ・黒田委員：私の分科会(グループ2)でも、本来、政務活動費は、制度自体はあるべき仕組みという意見があった。
- ・鈴木委員：私の分科会(グループ3)では、制度の導入ありきではなく、制度の根拠や目的について、調査研究すべき必要性の意見は出されている。
- ・渡辺委員：各グループの意見を踏まえたとしても、現時点では、今回の資料のまとめで良いと考える。
- ・中田委員：私も渡辺委員と同じく、今回のまとめは手元の資料で良いと考える。ただし、今後に向けては、各項目でまとめられた視点で、調査研究を進めていく取扱いが良いと考える。
- ・委員長：現時点では、このまとめとしたいと考える。今後の課題となっている事項について、検討時期やスケジュールについては、この場で意見交換はしないが、一定程度、全体項目の検討が完了する時点で再度整理していききたい。異議ないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：次に「費用弁償」について、意見はないか？
- ・正村副委員長：費用弁償に限った意見ではないが、住民視点からの検討か、議会(議員)として有益な活動に寄与するための視点か、ということは明確に区分し

て検討すべきと考える。傾向として、住民の理解を得るのが困難だったり、住民のイメージが悪いことを理由に、制度の是非の方向性を決めることになってしまうことは慎重にすべきと考える。

- ・委員長：他に「費用弁償」に関する意見はないか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：最後に全体を通して意見はないか？今回お示しした「まとめ」を、次回の全員協議会「分科会」で議論したい。異議ないか？
- ・黒田委員：賛成である。常任委員数、委員会数、議員定数については、分科会で議論していないため、次回議論のテーマとすべきと考える。
- ・正村副委員長：基本的事項の一つとなるが、「議員定数」と「人口比較」の考え方について、議運メンバーとして資料の解釈を統一しておきたい（人口比による議員定数の確定とはならない意味）。
- ・常通委員：先ほどの繰り返しになるが、「政務活動費」について分科会で出された意見では、議運の中で前回答申事項を改めて検証すべきとのことである。それを踏まえて、全員協議会での協議につなげていくべきと考える。
- ・正村副委員長：今回まとめた「政務活動費」の内容を、分科会で議論してはいかがか？
- ・委員長：今回のまとめを次回の分科会で議論する事項と整理したい。異議ないか？（異議なし）
- ・委員長：次回、全員協議会（分科会）で本日の決定事項を協議する。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見なし）

3 その他

(1) 次回の委員会開催日程について

令和4年3月4日（金）9時30分から

(2) その他

- ・委員長：共通認識を図る。第7回災害対策会議（2月18日開催）を踏まえて、議会内のコロナ感染対策の危機管理として、各委員会の開催手法について、オンラインを積極的に活用することに努めたい。また、定時的な換気（1時間に15分程度）を意識していただきたい。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：両常任委員会等の開催により感染対策の取組みについて共有を図っていただきたい。他に委員各位から「その他」はないか？
- ・黒田委員：先般の北大連携事業（外部評価）について、今後のスケジュールは？
- ・総務係長：本日、先方から報告書が届いた。クラウドに保存するので各議員に追って案内する。
- ・正村副委員長：活性化策に反映できるよう、今後の取り進めを協議していきたい。
- ・委員長：他に委員各位から「その他」はないか？
- ・（意見なし）

- ・委員長：議長からないか？
- ・議長：本日、3月定例会議の運営について審査した。予算審査等で日程が過密になるが、コロナ感染症の状況が好転していないことも鑑みると、議会及び議員の行動はもとより事務局職員の健康管理についても自他共に配慮いただきたい。
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和4年2月21日

議会運営委員会委員長 中村和宏